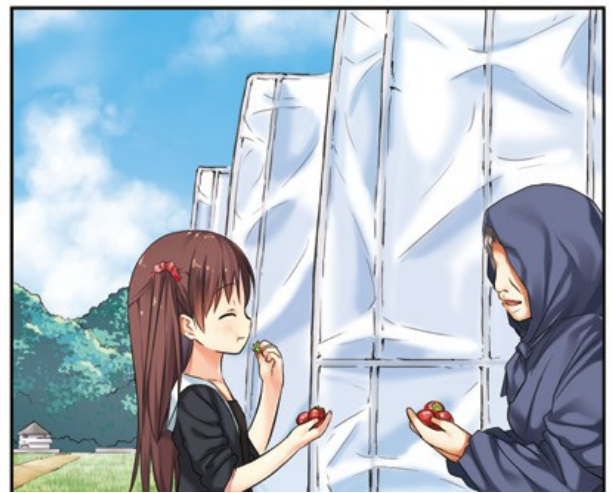
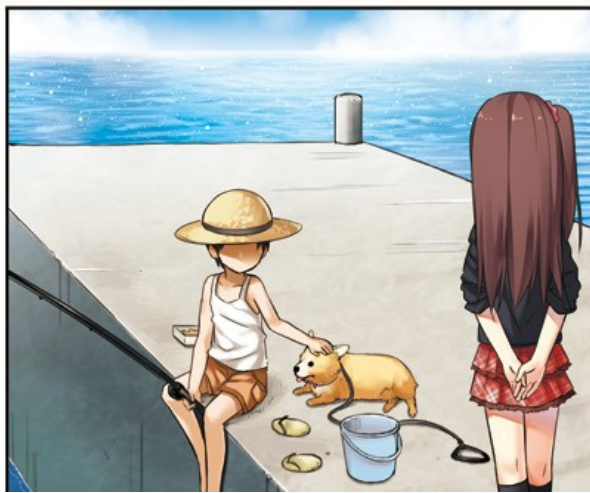


霧神島

全彩色版

第二篇

成人向

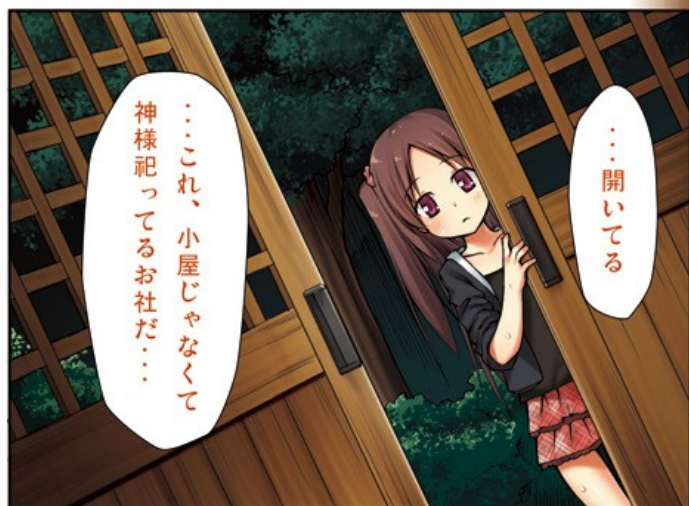






…変なの、道も
何も無いのに…

！
あんなところに
小屋がある…



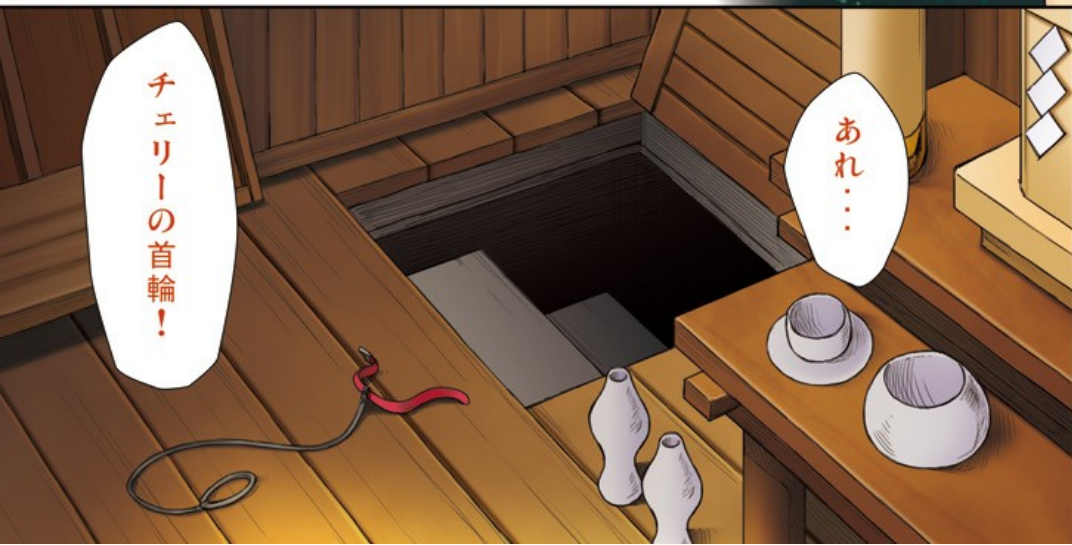
…これ、小屋じゃなくて
神様祀ってるお社だ…

…開いてる



…どうしよう、
帰り道わかんなく
なっちゃった…

もう…どこに
行っちゃったの、
チェリー…

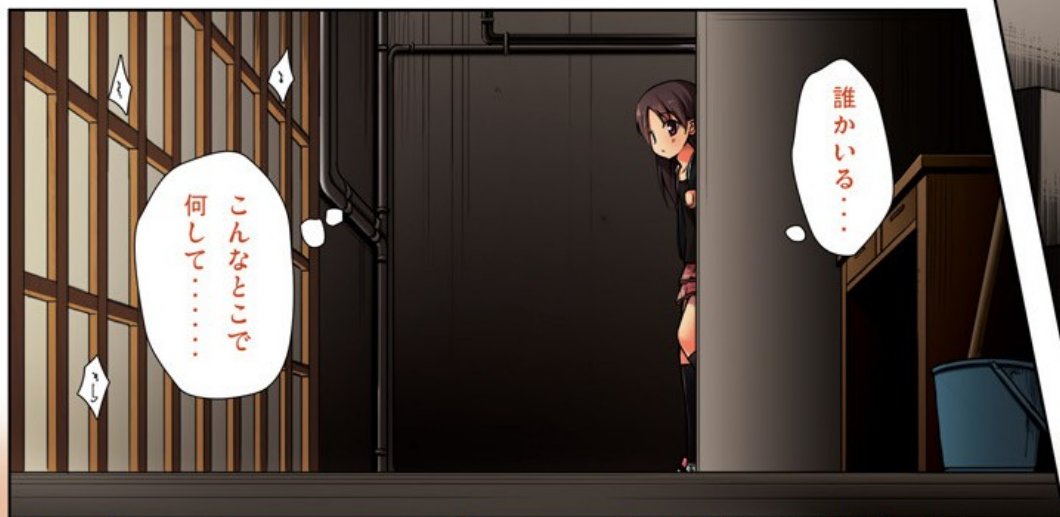


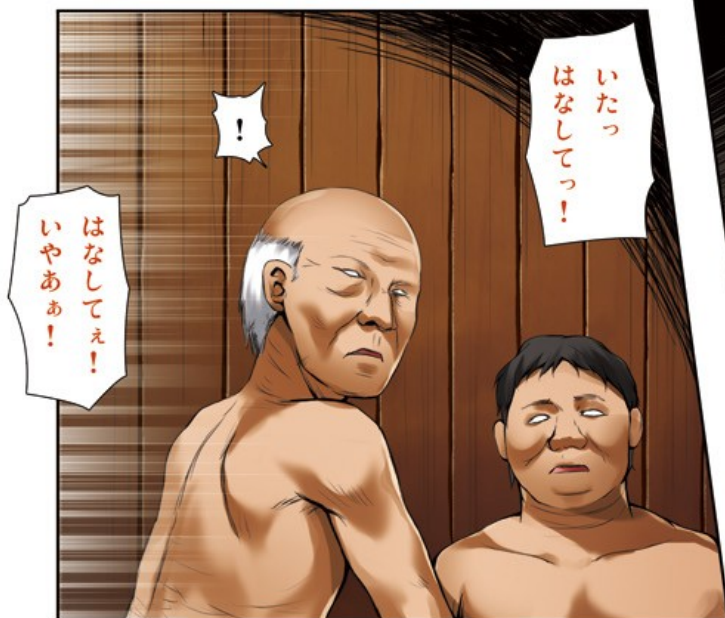
チェリーの首輪！

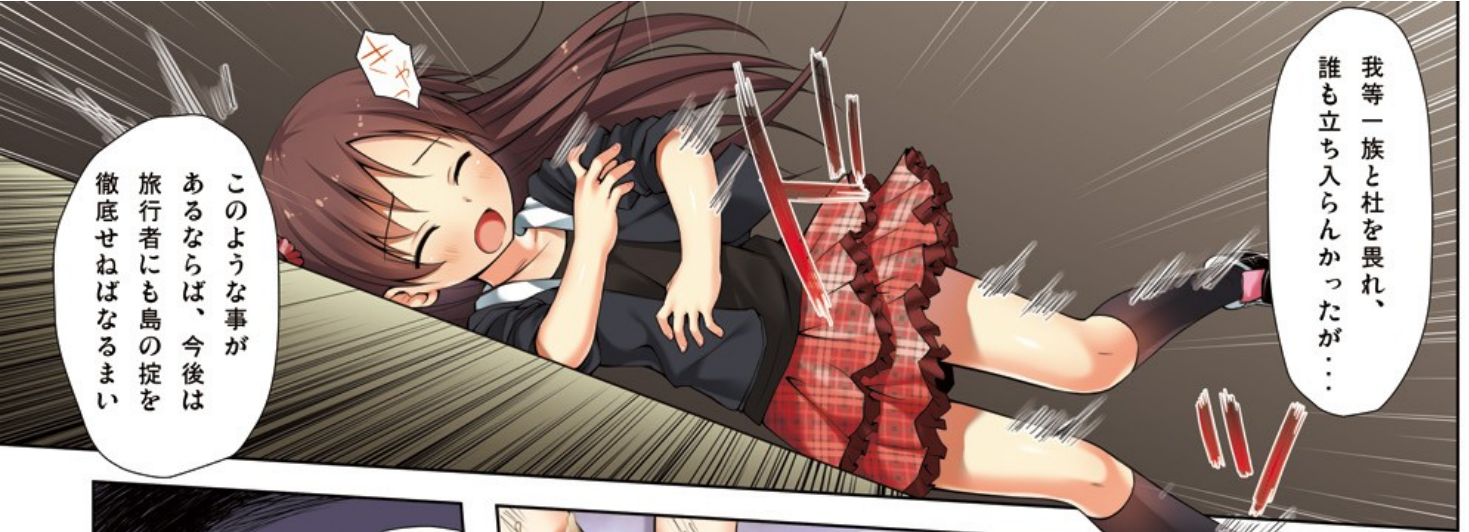
あれ…



あっ！







我等一族と杜を畏れ、
誰も立ち入らんかったが…

このような事が
あるならば、今後は
旅行者にも島の掟を
徹底せねばなるまい



死んでるっ…？
ひどい…っ

なんで…



ひっ…!!



にえ…？

人形…？

何…言って…



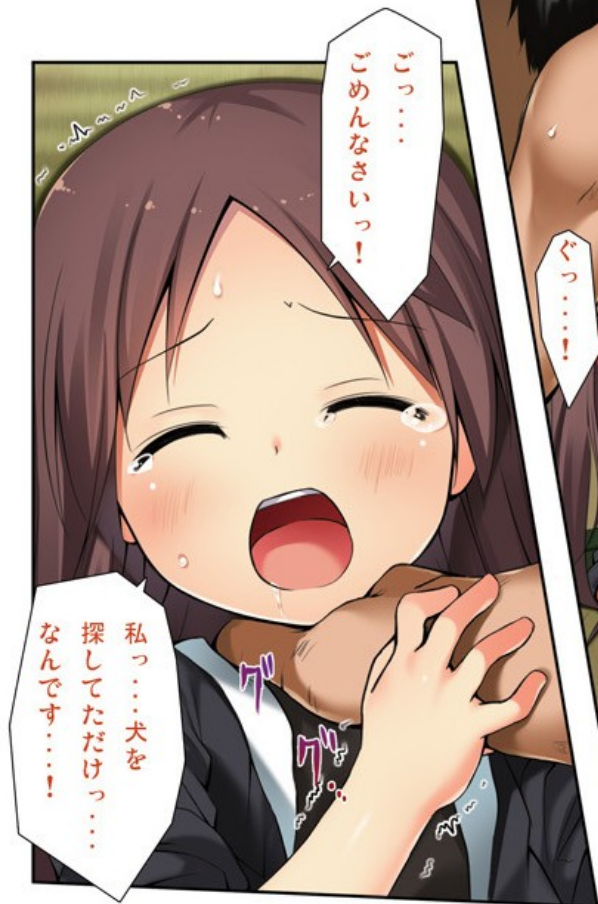
生きる肉の人形を、
儼らが使っておるだけの
ことじゃ

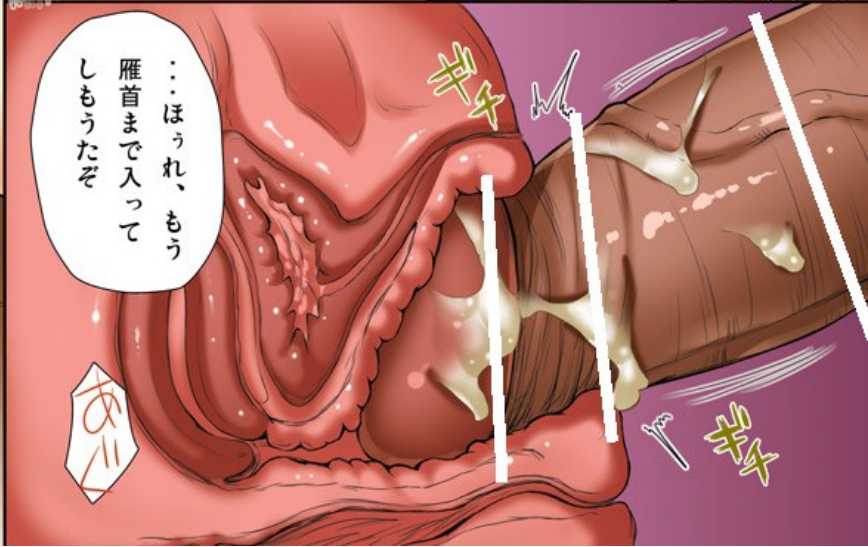
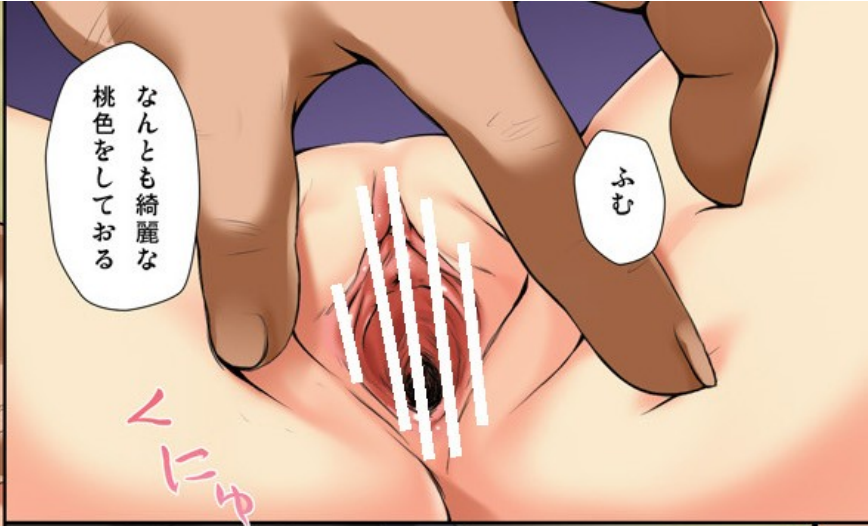
贅の役目も終え
子を成すことも出来なく
なった、ただの残り滓…



「非道い」？
何も知らん小娘が
ほざくで無いわ

これは魂が抜けただけで
心の臓は動いておる





む、なんだ
もう最奥か？

まだ半分程しか
入っておらんぞ

まあ、これで我慢して
やるから、その幼腫で以て
儂を悦ばせい！

贅とは違うのじゃ、
普通ならばその程度
じゃろう

うああ……
そうか？
仕方無いのう

いやっ！

痛いっ
やだっやだあ！！

いやっ
あっあ！
動かないで！！

グン
グン
グン

グン
グン
グン



すごい締め付けたのう、
蟲にほぐされた膣とは
また違う趣があるわい

すっちゃん

あう!

すっちゃん

やだやだっやだあ
いやあああ!

っぐ!

がっ

がっ



無駄じゃ無駄じゃ、
ここは儂ら以外
だあれも来やせん

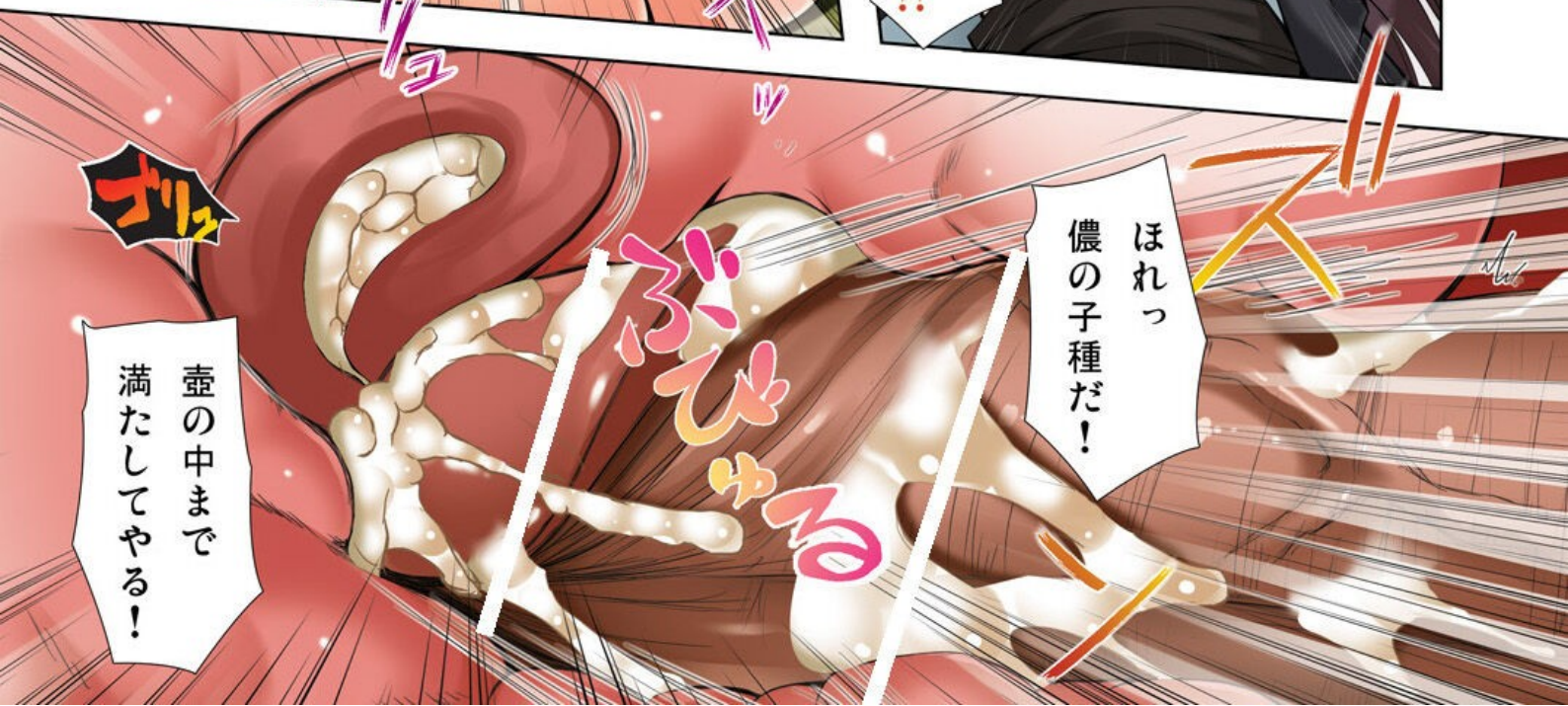
ふっ

大人しく
輪姦されい



痛っあ!
抜いっ...

誰かっ
誰か助けてえ!!

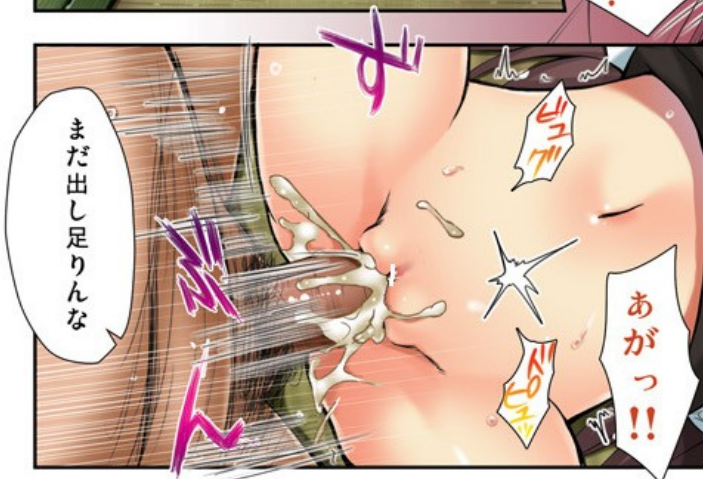


ほれっ
儂の子種だ!

ぶびゅる

オリッ

壺の中まで
満たしてやる!





くふふ…
達して失禁しおったか

余程儼の一物が
気持よかったのかのう？

ほれ、休んどう場合か
儼がまだ出しておらんのじゃ

剥いてやるから
体全部で奉仕せい

やっ…

やだっ！

このこと、誰にも
言わないから…！！

お願いだからっ
もう帰してよお！

やめてっ
もういやあ！

ちゅわわわ

それは
出来んなあ

やあ

もうっ
おちんちん
やだあ!!

此処を見てしまった
以上、お前の口は
封じねばならん

ほう、これは
確かに良い
具合じゃ
啜え込んで
放さんわ

はっ・・・ひ
んん・・・



柔肉に儼の臭いが
染み込んでおと思うと
余計にそそられるわい



ヒヒヒ、お前は
なんとも甘い、
良い香りがするのう…



噛めばその度
歯を折るぞ？
ちゃんと儼を
愉しませい



艶のある声に
なってきたではないか
秘薬の気に少し
あてられたかの？
ほれ啜えい



ほれっ
もっと喉まで
使わんか！



ヒヒ、汁が泡立って
淫靡な音を立てるぞ

そんなに締め付けて
余程儼から精を
搾り取りたいのかえ？



そう、良い
かんじじゃあ

そらっ

そらっ
もっと腰を
振らんかい！

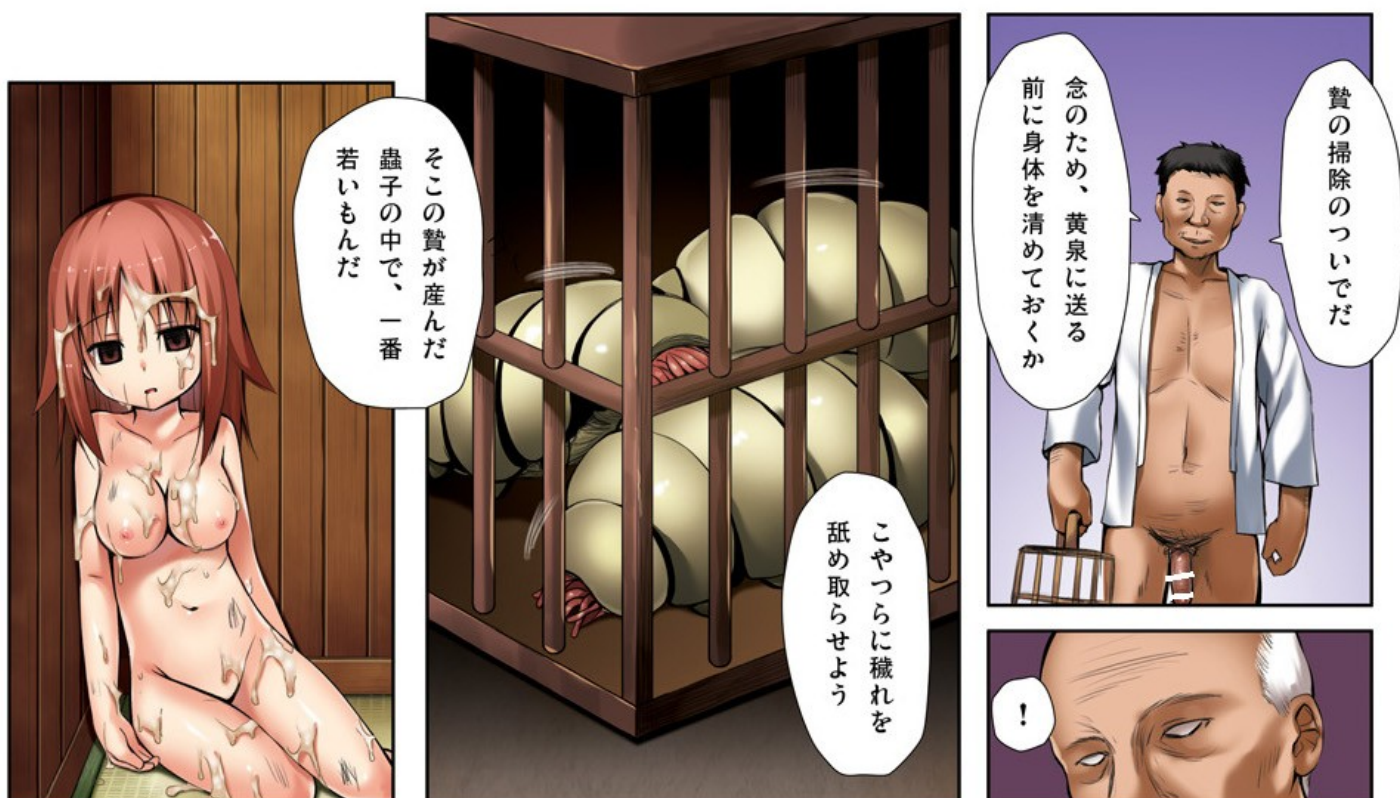


ならばたっぷり
くれてやるわ！

溜まりに溜まった
濃縮の子種を
味わえい！



いっしょ





昨夜未明、霧神島絹本町で
「崖の下に女の子が倒れている」
と、地元の男性から役場に
連絡がありました

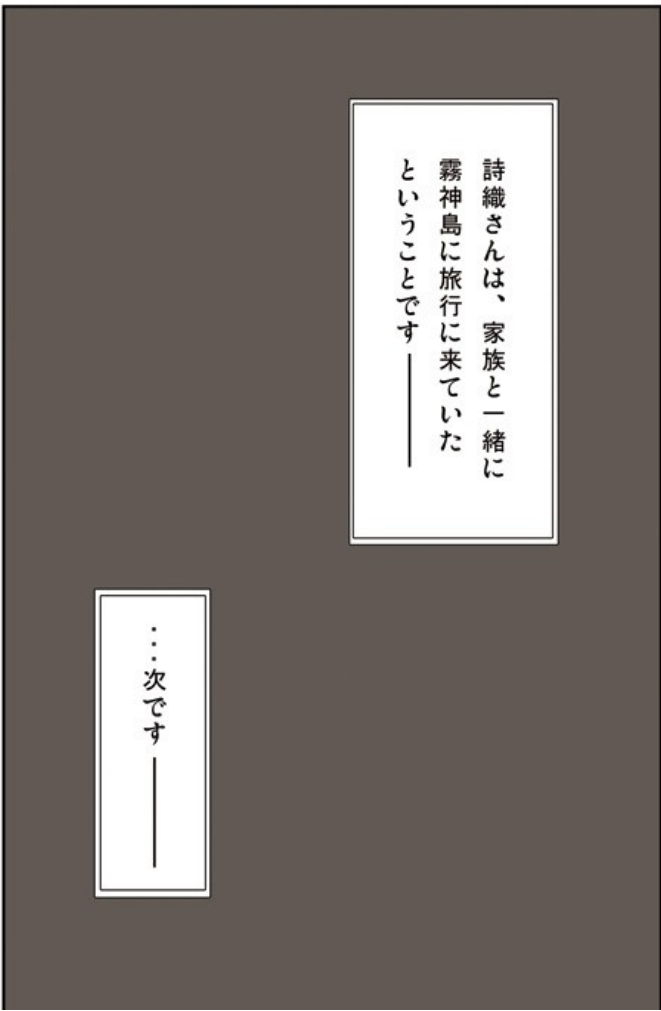
女の子はすぐに救助され
病院に搬送されましたが、
全身を強く打っており
まもなく死亡が確認されました



亡くなったのは、
花湯町在住の学生、
野々原詩織さんで――

昨日の午前、詩織さんは
ペットの犬と島を探検すると
言って出かけており

散策中、崖に立ち寄った際
誤って転落したものと
見られています



詩織さんは、家族と一緒に
霧神島に旅行に来ていた
ということです――

…次です――



現場は高さ30メートル程の崖で、
昨日は強い風が吹いていました